

年下の男の子と
あつきあひしています。



成人向
18禁
FOR ADULT ONLY

年下の男の子と
あつきあいしています。



○この本でえっちなことをしたりしなかったりする人たち○



○未亜(みあ)ちゃん○

今回のショタコンお姉ちゃん。
友人からはふわふわした性格と思われているが、
家族からは結構強かな性格をしていると思われている系。
小さくて可愛いものが好き(性的な意味で)
小さくて可愛ければ、相手が女の子でも実はアリ。



○ナオくん○

未亜ちゃんの彼氏。
7歳差。
同性より異性の友達が多い。
本編開始時点で何気に最低限の性知識があるが、
それらは何故か異性の友達から貸してもらった
えっちな本から得た知識だったり。
反応が可愛いからという理由で
からかわれたのだと思われる。



○未亜ちゃんの友人たち○

未亜ちゃんのクラスメイト。
特にどうということもない恋話好きな普通的女子高生。
どちらも現在彼氏ナシ。



○未亜ちゃんの妹○

とても姉想いな妹。
かなりシスコン気味。
姉の好みなら何でも把握している。





未亜！
聞いたよー

！
彼氏できたんなら
教えなさいよー

えー、誰から
聞いたの？

今朝、三組の春子と
一緒に登校してさー

なんかすごい言いづらそうに
してたから、これは
本人に直撃するしかないって

で、相手は？
同じクラス？

えっとね…

歳は7つ差でー…
妹と同じ学校に
通ってる男の子でー…

すっごくおとなしくて
可愛くてランドセルが
とってもよく似合ってるの♡

7…
妹と同じ…
ランドセル…

小学生…？

キーン



























○キャラデザ的な。

今回はお話の構成的にいくつかの衣装を用意する必要があったので、3パターンほど。

制服はちょっといいところの学校に通ってる感を出したかったので、それっぽい感じのプレザーに。

部屋着は肩出しセーターでえっちなお姉さんっぽく……
ガーターはつけるつもりじゃなかったんですけど、なんか気づいたら生えてましたね……



三つ目は表紙絵でも使用していますが、童貞を殺す服ならぬショタを殺す服、みたいな。

制服ver.



……個だけ、ぬ？、ドキ



部屋着？ver.



おいかけ服ver.

「年上のえっちなお姉さん」というのがベースではありつつも、子供っぽい雰囲気も出したいなあ……ということで大体こんな感じに。

こうして立ち絵だけ並べて見ると、かなり服装に左右されるものなんだなあ……と実感させられます。
私服はまだ可愛らしさを感じるのに、セーター姿とかもうはちゃめちゃダメですもん。

●あとがき●

これを書いているのは4月の頭頃なのですが、世間はさながら世紀末のような様相で、同人イベントに関しては終末の足音すら聞こえてきそうな事態に陥っていますけれども。

GWに予定されていたコミケが中止になっただけでなく、様々なオタク系・非オタク系問わずイベントが中止か延期の二択しかない世知辛いこのご時世、少しでも元気になってもらえたらと、委託のみ(現時点では)という形ではありますが、この本を発行させていただきました。

普段、描き手である自分が今できることといえば、なるべくいつもと変わらぬように作品を世に出し、この同人業界、すけべ業界、おねショタ業界、諸々と自分の絵が関わり得る全ての業界に活力というか、当たり前の日常感を維持していくことだと思っています。

非日常を完全に受け入れてしまったら、本用に生きづらいですからね。楽しかった日々を忘れてしまったら、もう二度とあの日々には戻れなくなるわけです。

だから、おねショタです。

前回の冬の本のあとがきでは、「おねショタには一旦の区切りをつけたから次は違うジャンルのを描くかも……」とか寝言を書き連ねていましたが……またおねショタです。すみません。

こういうえっちな体験談を語っていく形式みたいなのを最初に思いつき、これに合うペースのネタって何だろう……と考えたとき、やっぱり真っ先に思い浮かんだのがおねショタでした。

聞き手のリアクションみたいなのも考慮すると、やっぱりおねショタが一番わかりやすいのかな、みたいな。「彼氏ができたの！ 眞相手は小学生！」きやつ♡とか、リアルにかまされたら戦慄が走るどころの騒ぎじゃないと思います。

元々、この時期のイベントっていうとコミ1だったので。コミ1では少し変わった感じのお話を出来るだけ描いていこう、という自分内ルールもあったので、今回はコミケ合わせではありましたが、やってみよう。

野外えっちとかも描いてて新鮮でした。このシチュで一冊全部となると背景やら何やらで気が狂いそうになりますが(素直)こういう形式であれば数ページでいいので、いい感じに練習になったと思います(ぼじていふ)

この本が書店に並んでいるとき、果たしてエアコミケは盛り上がっているでしょうか……自分と同じような想いを抱いて、本を発行されているサークルさんがたくさんいればいいな、と願いつつ。

次回は世間の動向にもよりますが、これを書いている現時点だと夏に大阪のイベントあたりに参加するのも面白いかも、と考えています。関西人なのに関西のイベントに全然参加してないですからね……

次に本を出すときは、今より世の中が明るくなっていますように。

2020年4月某日 RYO

年下の男の子とあつきあひして。*

2020年5月1日 発行
印刷会社：PICO様
発行：没後
著者：RYO

URL: <http://www.vesta.dti.ne.jp/~mayaul/>
MAIL: ryo5120@gmail.com

本書の複製・転写・インターネットへのアップロードを固く禁じます
私丁・落丁本については、上記の連絡先までご連絡下さい

